製品の仕様・価格・発売時期に

A0639

115系300番台・湘南色「宇都宮線さよなら115系」 11両木箱セット

予価:32,000円(税別)

JANコード:115718 カートン内入数:12

A0627

115系300番台・スカ色「快速むさしの」 6両セット

予価:19,000円(税別)

JANコード:106242 カートン内入数:12







A0627

商品形態 Nゲージ塗装済完成品 (素材:ABS樹脂製 対象年齢:8歳以上 ブックケース入り) 115系は、東北本線と高崎線の近代化を目的として1963年に登場しました。勾配・積雪等の線区でも使用することを前提に、113 実車 系をベースに勾配抑速ブレーキの採用、耐寒耐雪構造となり、側扉が半自動でも使える構造となっているのが特徴です。第1陣は 東北本線、高崎線用として登場し、1966年からは中央東線にも配属されました。誕生後は形態にバリエーションを加えつつ、1983 年まで20年間にわたり増備が続けられました。

[A0639]

1963年に誕生して以来、41年間にわたって東北本線(宇都宮線)を走り抜いてきた小山車両センター所属の115系が、2004年10月 のダイヤ改正を以って現役を引退しました。2005年1月15日(土)に、Y367+Y368+Y427編成を使用して「41年間ありがとう!宇都宮線さよなら115系」が上野~黒磯間で運転、終着黒磯駅では「さよならセレモニー」が行なわれ115系との別れを惜しみました。

運転日時:115系電車にちなみ2005年1月15日 運転時刻:115系電車と41年間にちなみ、

上野15番線から午前10時41分発、黒磯1番線に午後1時15分着

[A0627]

当セットは豊田電車区(ハトタ)のM40編成で、主に府中本町・八王子~大宮間の「快速むさしの」に使用されています。車内アコモ -ションの改良、シングルアームパンタグラフ及び2丁パンタ化(モハ114-374)されているのが特徴です。

商品概要

- ・マイクロエース 近郊型電車シリーズの更なる充実。
- ・先頃さよなら運転を行った湘南色の宇都宮線115系を木箱入りフル編成セットとして発売(A0639)。
- ・「快速むさしの」号として武蔵野線を走るスカ色の編成を製品化(A0627)。
- ・ヘッドライト、前面方向幕、テールライト点灯(ON-OFFスイッチ付)。 ・クーラー形状及び色、Hゴム色などの違いを、一両毎に実物に則して作り分け。
- 車番、各種標記、JRマーク、弱冷房車表記等を印刷済。
- ・半自動用のドア取っ手を銀色印刷。
- 床下が引き締まる黒染め車輪を採用。

A0639

- ・2005年1月15日に運転された、「宇都宮線さよなら115系」列車を完全再現する特別セット。
- ・行き先サボ、号車札、計2種の列車名サボを実車に則して印刷済み。
- ・円形台座に印刷済みのヘッドマーク2種を同梱。
- -1~7号車はロングシート、8~11号車はセミクロスシート
- ・クハ115-367、クハ115-427にはジャンパー栓ホースを別部品で再現。
- ・各先頭車の屋根上・アンテナ周辺のグレー塗装(滑り止め)を再現。
- ·編成

モハ モハ モハ モハ モハ モハ 115-420 114-368 115-342 114-367 115-341 115-367 115-490 114-427 115-401 115-427

JR東日本商品化許諾済

A0627

- ・府中本町・八王子-大宮間の「快速むさしの」号に使用される、115系300番台を再現したセット。
- ・菱形パンタグラフとシングルアームパンタグラフが搭載されたモハ114-374と、 シングルアームパンタグラフのみが搭載されたモハ114-354を忠実に再現。
- 全車セミクロスシート。
- ・クハ115-318にはジャンパー栓ホースを別部品で再現
- ・各先頭車の屋根上・アンテナ周辺のグレー塗装(滑り止め)を再現。
- •編成

一八王子·府中本町 6号車 5号車 クハ115-398 モハ114-374 モハ115-348 サハ115-319 モハ114-354 クモハ115-318

JR東日本商品化許諾済

印刷済みヘッドマーク(A0639のみ)、方向幕ステッカー